

令和2年度 福祉保健部長「政策宣言」中間報告

福祉保健部長 小見光子

○ 令和2年度重要事業

事業名	福祉計画の策定
目標	「射水市高齢者保健福祉計画・第8期介護保険事業計画」、「第6期障害福祉計画」及び「第3次射水市食育推進計画」を策定するとともに、各福祉分野の上位計画である「第2次地域福祉計画」を策定し、様々な地域生活課題についても、分野横断的、多機関協働で取り組む方針を示し、地域共生社会の実現を目指します。
進捗状況	各計画について、ニーズや課題把握のためのアンケート調査等を実施し、それぞれの策定委員会で基本理念や基本目標等を確認しました。
今後の対応	策定委員会等で素案についての意見交換を行うほか、市民に向けたパブリックコメントを行い、そのご意見等を踏まえ、地域共生社会の実現に向けて、それぞれの計画を策定します。

事業名	子育て支援の推進
目標	今年度から実施する第二期子ども・子育て支援事業計画に基づき、子どもの健やかな育ちと保護者の子育てを社会全体で支援する環境を整備してまいります。
進捗状況	本年4月には幼保連携型認定こども園「新湊うみいるこども園」が開園したほか、市立大門わかば幼稚園を幼稚園型認定こども園に移行するなど、多様化する保育ニーズへの対応を図りました。 また、産後2か月以内の赤ちゃんがいる家庭にヘルパーを派遣し、家事や育児支援を行う産後家事サポート事業を開始するなど、新規事業を含め着実に取り組みました。
今後の対応	引き続き、子どもの健やかな育ちと保護者の子育てを社会全体で支援する環境の整備に取り組みます。

事業名	社会保障の充実
目標	ひきこもりや8050問題など複雑化・多様化した社会的課題に対応するため、自立相談支援機関の機能を強化します。また、ひきこもりサポーターの養成や切れ目のない相談・支援体制の整備に取り組んでまいります。
進捗状況	射水市ふくし総合相談センター「すてっぷ」を射水市社会福祉協議会内に開設し、ひきこもりや生活困窮等各種相談体制の強化を図りました。
今後の対応	ひきこもり対策としてサポーター養成研修の実施や集いの場となる「すてっぷカフェ」を開設します。切れ目のない支援を実施するため、情報共有や事例検討等による関係機関とのネットワークの強化を図ります。

事業名	健康寿命の延伸と認知症対策の充実
目標	<p>高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施に取り組み、健康寿命の延伸を図るとともに、軽度認知障害（MCI）の方を早期に発見し支援につなげるための「認知機能検診事業」や、ICTを活用し認知症による行方不明者を検索する「みまもりあい事業」を新たに実施するなど、認知症対策を充実します。</p>
進捗状況	<p>保健事業と介護予防との一体的実施では、ハイリスク者に対する個別的な対応を行うとともに100歳体操グループなどの高齢者の通いの場に対し、フレイル予防等の健康教育や健康相談を実施しています。</p> <p>認知症対策としては、認知機能検診事業を開始し、認知症の早期発見、早期対応に努めました。また、認知症高齢者が行方不明になった時にスマートフォンを活用し検索する「みまもりあい事業」の実施により、地域のみなさんで認知症高齢者を見守りあう街づくりを推進しました。</p> <p>加えて、健康寿命の延伸を目指し策定した「第2次射水市健康増進プラン」に基づき、子どもから高齢者まで一人ひとりが自ら健康な生活習慣に取り組めるよう、8つの行動目標「Let'sトライ IMIZUSHI 健康8」について、市政出前講座や健康づくりボランティアへの研修を通して普及啓発を図りました。</p>
今後の対応	<p>引き続き市民の皆さんの健康づくりを支援し、保健事業と介護予防の一体的実施に取り組み、健康寿命の延伸を目指します。</p> <p>コロナ禍においても自宅で介護予防に取り組めるようケーブルテレビ等を利用し、フレイル予防の講座を放映するなど情報発信を行っていきます。</p> <p>また、出前講座を通じて「認知機能検診」や「みまもりあい事業」のPRに努めます。</p>